



みんなで築く
「心配なし あらお」

5月号もくじ

- P.2 【報告】
令和5年度 事業計画及び収支予算が承認されました
令和5年度 赤い羽根共同募金助成団体が決定しました
【連載】
荒尾市社会福祉協議会のご紹介
- P.3 【寄付のお礼】
香典返し寄付
フードバンク事業
一般寄付
- P.4 【福祉かわらばん】

社協だより

緑ヶ丘eスポーツ大会開催！



2月26日（日）、ゆめタウンシティモール内のシティホールで緑ヶ丘地区協議会ジュニア交流部会（協力：井手川地区協議会）が子どもの健全育成を目的として「緑ヶ丘eスポーツ大会」を開催しました。eスポーツはコンピュータゲームやビデオゲームを競技として行う新しいスポーツです。当日は緑ヶ丘小校区在住の小・中学生16名が出場し、手に汗握る熱戦が繰り広げられました！なお、本大会は地区協議会地域福祉部会の取り組みとして荒尾市社協が支援しました。

令和5年

5月

No.229



Shinainashi

【発行者】社会福祉法人荒尾市社会福祉協議会

〒864-0011 熊本県荒尾市下井手193番地1

TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

Eメール araoshisyakyo@crux.ocn.ne.jp

荒尾市社協

HP <http://arao-shakyo.com/>





令和5年度 事業計画及び収支予算が承認されました

令和5年3月に荒尾市社会福祉協議会にて理事会・評議員会が開催され、令和5年度事業計画及び収支予算が承認されましたので市民の皆様にご報告します。令和5年度、荒尾市社協では地域住民の皆様とともに「個人の福祉課題」、「地域の福祉課題」の解決を目指し、引き続き地域福祉の推進を図ってまいります。

【新規事業】

○プラットフォームの創設

複合的な福祉課題に対し、分野横断的に課題解決を図る協働の土台であるプラットフォームの創設を目指します。

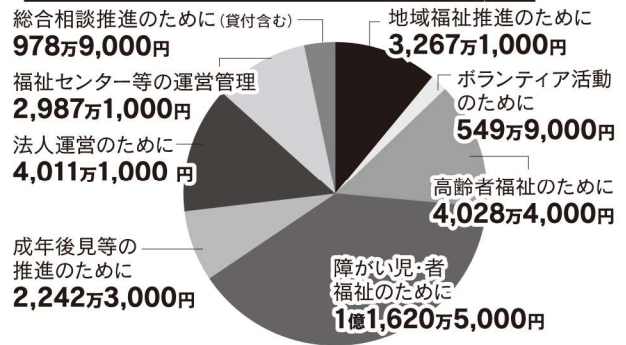
○地域診断

熊本学園大学と協働して市民への訪問調査を行い、潜在化した地域の福祉課題の抽出を行います。抽出した地域課題は今後の事業展開やプラットフォームを通じて解決を目指します。

○終活支援事業

独居高齢者等が亡くなられた後、本人の希望に基づき葬儀、火葬、納骨、家財道具、行政手続きを実施して「その人らしい最期」を支援します。

令和5年度予算 支出の内訳



収入総額 ▶ 2億8,127万1,000円

支出総額 ▶ 2億9,685万3,000円



令和5年度 赤い羽根共同募金助成団体が決定しました



荒尾市共同募金委員会では、令和4年度に集められた募金を原資として、地域で安心して暮らせる福祉活動への助成を決定しました。

団体名	事業名	助成決定額
荒尾市子ども会連合会	親子野外指導者研修	59,000円
「社会を明るくする運動」荒尾市推進委員会	荒尾市社会を明るくする運動	34,000円
荒尾地区保護司会	更生保護だよりの発行	36,000円
荒尾市老人クラブ連合会	広報紙 健老だよりの発行	145,000円
	各種研修会	50,000円
	会員連携事業	30,000円
荒尾市更生保護女性会	研修会	18,000円
若竹会	子育てフォーラム、研修など	45,000円
荒尾市遺族会連合会	総会	36,000円
荒尾市民生委員児童委員協議会連合会	民生委員児童委員研修・啓発事業	540,000円
荒尾市ボランティア連絡協議会	ボランティア研修事業	50,000円
荒尾市行政協力会	会員連携事業	45,000円
荒尾市視覚障がい者福祉協会	ふれあいスマホサークル	45,000円
荒尾市社会福祉協議会	子ども子育てサロン助成事業	300,000円
	ボランティア団体助成	630,000円
	地区協議会地域福祉部会助成事業	100,000円
	福祉委員配置事業	1,188,000円
	心配ごと相談事業	60,000円
	訪問美容事業	144,000円
	ボランティア養成講座	160,000円
	歳末たすけあい事業	502,536円
	社協だよりの発行など	1,211,245円
	合計	5,428,781円



荒尾市社会福祉協議会のご紹介

荒尾市社会福祉協議会は、昭和26年6月に荒尾市に誕生し、地域福祉の推進に取り組んできました。今号では荒尾市ふれあい福祉センター ふれあい地域活動支援センター（以下、地域活動支援センター）の取り組みについてご紹介します！

利用について

対象者: 身体、知的、精神に障がいをお持ちの方、難病の方(介護保険法の要介護者・要支援者は除く)

営業時間: 月曜日～金曜日(祝日を除く) 午前9時30分～午後3時30分

利用料: 100円

食事サービス料: 500円(利用月の前月の末日までに利用月の食事利用予定をお伺いします。)

送迎サービス料: 無料

その他: 創作的活動に係る材料費等については一部実費負担となります。

スタッフより一言: 「様々な講座も準備しております。ご利用についてはお気軽にお問い合わせください。」

荒尾市ふれあい福祉センター②地域活動支援センター

地域活動支援センターでは、障がいをお持ちの方へ創作活動や文化的活動・機能訓練の機会を提供するとともに、生活や暮らしの中での困りごとの相談や施設を利用される方どうしの交流の場としてご利用いただいています。



[場所] 荒尾市ふれあい福祉センター (荒尾市川登 1777 番地 12) [お問合せ] TEL 0968-68-6205 FAX 0968-68-6433

香典返し寄付のお礼

※香典返し寄付は、荒尾市社会福祉協議会と荒尾市福祉課にて受付けています。

次のとおり、金一封を社会福祉事業にお寄せいただきました。厚くお礼申し上げますとともに故人のご冥福をお祈りします。

(受付順・敬称略)

2 月受付分

寄付者名	寄付者住所 (行政区)	続柄	物故者名	年齢
田 蔦 和 子	北増永	亡夫	田 蔦 眞 誠	77
井 村 景 勝	北増永	亡父	井 村 新 一	85
西 嶋 敏 弘	青葉	亡母	西 嶋 國 子	84
水 本 貴 久	猫宮	亡母	水 本 紀代子	82
杉 本 ヒトミ	玉名郡長洲町	亡母	武 藤 ヨシ子	98
宮 崎 京 子	山浦	亡母	森 藤 相 子	101
江 崎 友 子	桜山町三丁目	亡母	江 崎 澄 子	84
寺 田 朝日子	荒尾大谷	亡母	寺 田 教 子	86
辻 静 枝	万田中	亡母	辻 ユ キ	107
原 田 正 昭	一紡	亡父	原 田 正 純	78
重 村 礼 子	岱洋中	亡義母	重 村 英 子	93
瀬 崎 美津子	牛水上	亡夫	瀬 崎 秀 徳	75
森 崎 美志子	菰屋南	亡夫	森 崎 孝 則	93
上 松 友 治	野原北	亡父	上 松 友 佳	101
松 本 景 子	福岡県柳川市	亡母	牧 本 雪 子	92

3 月受付分

寄付者名	寄付者住所 (行政区)	続柄	物故者名	年齢
池 上 正 晴	南増永	亡母	池上 エイ子	95
猿 渡 哲 男	玉名郡南関町	亡兄	猿 渡 浩 祐	66
栗 山 隆 治	八幡台三丁目	亡母	栗 山 光 子	102
小 山 誠 司	蔵満	亡子	小 山 幹 稔	29
永 井 潤 司	緑ヶ丘四丁目	亡母	永 井 キヨ子	90
中 田 勝 久	青葉	亡義弟	松 嶋 久 義	68
山 本 和 子	月田	亡母	原 スゞ子	99
吉 田 俊 子	宮内出目東	亡夫	吉 田 義 則	89
竹 下 弓 子	中央西	亡夫	竹 下 明	72
前 田 潔	宮内	亡母	前 田 シメ子	89
塚 本 明 美	向陽台	亡父	内 田 昭 夫	95
村 中 直 行	南増永	亡妻	村 中 フミ子	95
森 田 周 一	野中	亡母	森 田 幸 代	97
西 山 雪 男	荒尾大谷	亡母	西 山 千代子	99
河 野 みどり	宮内出目東	亡母	吉 田 勢 子	96
中 西 幸 子	住吉町	亡夫	中 西 邦 仁	76
北 尾 久美子	川北	亡夫	北 尾 猛 夫	82
岩 本 守	牛水上	亡妻	岩 本 苓 子	81

一般寄付のお礼

次の方から社会福祉事業に役立ててほしいと心温まるご寄付をいただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

熊本中央信用金庫 荒尾支店 信交会 様
 熊本中央信用金庫 中央支店 信交会 様
 (順不同)



▲熊本中央信用金庫 荒尾支店 信交会様ならびに中央支店 信交会様(左)から一般寄付受領の様子

フードバンク事業に寄付いただきました

次の方からフードバンク事業に食料をご寄付いただきました。皆様の善意に厚くお礼申し上げます。

安松賢一 様 長谷川文代 様
 荒尾市役所職員御一同 様
 カーブスイオンタウン荒尾 様
 ゆめタウンシティモール 様 (順不同)



▲カーブスイオンタウン荒尾様(右)より食材受領の様子

※社協では引き続きご家庭や職場で不要となった食品の寄付をお願いしています。いただいた食材は子ども食堂や児童養護施設、生活困窮者に提供させていただきます。

[お問合せ] 荒尾市社会福祉協議会 地域福祉係
 TEL 0968-66-2993 FAX 0968-66-2994

ご報告

第1回あらおできるしこ座談会を開催しました！

3月10日(金)に荒尾市立図書館みんなのへやで「第1回あらおできるしこ座談会」を開催しました。この座談会では地域住民、高齢福祉団体、児童福祉団体、商業施設、商業団体、荒尾市、荒尾市社協などの参加メンバーが「できることをできるしこ」をキーワードにして荒尾市が抱える地域課題について話合いました。

当日は7団体が出席し、荒尾市から地域課題、社協から地域福祉活動の実際について説明を行った後、「移送」や「買物」、「地域の担い手不足」などの課題について話合いました。参加者からは「自分たちの立場からできること」について様々な発言があり、荒尾市と社協は、荒尾の「今」そして「未来」のために今後も継続して本座談会を開催する予定です。



▲座談会の様子

ご報告

令和4年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰における表彰状伝達式が行われました！

2月17日(金)に荒尾市役所で令和4年度熊本県社会福祉功労者及び団体等知事表彰における表彰状伝達式が行われました。この表彰は、社会福祉の向上に著しい功績があり、他の模範となる方や団体の功績をたたえ表彰することにより、県民一人一人の社会福祉への理解と意識の高揚を図ることを目的として行われるもので、令和4年度は長年にわたり地域の見守り役を務められた民生委員児童委員ならびに福祉委員の計8名の皆様が受表彰されました。受表彰された皆様、おめでとうございます！



▲伝達式の様子

ご報告

交流拠点あおばの運営を終了します

この度、令和5年3月末日をもちまして交流拠点あおばの運営を終了することになりました。終了に伴い3月22日(水)に認知症カフェの閉所式、3月31日(金)には学童クラブあおばで食事会とお別れ会を実施しました。

あおばでは平成17年の開所以来、多くの方々にサービス、学童クラブや認知症カフェ等をご利用いただき、また事業の運営や行事の開催にあたっては多くのボランティアや地域の方々にもご参加いただきました。市民の皆様には長きにわたるご愛顧、ならびにご支援ご協力をいただきましたことに深く感謝を申し上げます。



▲カフェあおば閉所式



▼学童クラブあおば 食事会

ご報告

あらお防災人の会が「第27回防災まちづくり大賞」を受賞しました！

3月8日(水)にあらお防災人の会(代表:甲木喜一朗さん)が荒尾市社協を訪問し、第27回防災まちづくり大賞受賞を報告されました。この賞は、地域に根ざした団体・組織等、多様な主体における防災に関する優れた取組や、防災・減災、住宅防火に関する幅広い視点からの効果的な取組等に対する全国表彰です。

あらお防災人の会では「誰一人として取り残さない防災まちづくり!」を掲げ、研修講師や防災イベントの企画、災害ボランティアセンターへの支援等を行われています。このたびの受賞、誠にありがとうございます！



▲代表の甲木さん(左)より報告いただきました

